

①意義：水に纏わる日本の技術やサービス、日本企業のESGへの取組み等を世界へ発信します。

②手段：(a) 日本パビリオン内でのモニター上映、動画拡散
(b) 日本水フォーラムウェブサイトの特設ページの活用（検討中）

③メリット：

- 第10回世界水フォーラム参加者は、**17,000人以上(主催者発表)**を見込んでおり、**日本パビリオンへの動員数は、のべ4,000人規模を想定**しています。
- 1枠（10分）の応募で、開催期間（5日間）を通して、**受付近くの大型モニター（43"×2枚）で 1日あたり2回以上※、上映いたします。**（Min. 20分/日×5日間）
※上映プログラムの調整やモニターの増設により、上映回数の追加を検討中です。
- **事務局が上映を担当いたしますので、現地出張ができない場合でも出展いただけます。**
- **作成いただいた動画は、パビリオン来訪者はじめ、日本水フォーラム現地出張者が交流する方々に幅広く配布するほか、かつ、日本水フォーラムの特設ページで掲載する等、別途、視聴機会を拡大いたします。**
- 先般実施した意向調査結果を踏まえ、出展者さまの負担を軽減しつつ、日本の技術やサービス等をより広範囲に発信するため、**動画上映に関する出展料金を抑えることを検討**しています。
現地参加の方はもちろん、日本からの出展参加をお待ちしています。

◆(出展形態 ii) 動画上映について (a)

(a) 日本パビリオン内でのモニター上映、及び動画拡散:



日本パビリオン製作イメージ (写真は第7回の様子)

*パビリオン来訪者等々に積極的に情報展開。



+

パビリオン内の複数のモニターにおいて、
水に纏わる日本の技術やサービス、日本企業のESGへの
取組み等を世界へ発信します。

パビリオン参加者に対する、QRコード
の配布等により、手元の携帯等でも
閲覧可能とし、機会を増加させます。

※この画像はイメージです